

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 690402 奨学金支給事業						主管課名	教育行政課			
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成					課長名	近藤 政彦			
		施策	豊かな心と個性が輝くまち									
		基本事業	経済的援助による就学機会の増大									
	(1)事業の概要											
	低所得世帯で、学力優秀な高校生・大学生に対して、奨学金を支給する。 ：高校生 6,000円/月(72,000円/年) ：大学生 8,000円/月(96,000円/年)						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							奨学生申請件数		件			
							その指標					
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
支給要件：成績優秀な学生および生徒で、経済的な理由で就学が困難な方。保護者が1年以上市内在住。 支給額：高校生月額6,000円、大学生月額8,000円。 申請（継続）手続き：3月に書類提出。												
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
経済的理由により就学困難な学生及び生徒						名 称		単 位				
						奨学生申請者数		人				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
高等学校及び大学への就学援助をする。						名 称		単 位				
						奨学生認定者数		人				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
安心して生活でき、どんどん学習できる環境をつくる						名 称		単 位				
						支給等を受けている保護者の数		人				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		件	16	25	15	15	15	15				
(6)の対象指標		人	16	25	15	15	15	15				
(7)の成果指標		人	13	14	15	15	15	15				
(8)の結果の成果指標		人	371	412	542	589	622	634				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	01	目	03
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	984	1,032	1,128	1,224	1,224	1,224				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	984	1,032	1,128	1,224	0	0			
		一般財源	千円	0	0	0	0	1,224	1,224			
人件費B		千円	788	802	802	802	802	802				
正職員従事時間×人数		時間×人	200×1	200×1	200×1	200×1	200×1	200×1				
正職員以外の人件費		千円	50	50	50	50	50	50				
その他費用C		千円	70									
トータルコストA+B+C		千円	1,842	1,834	1,930	2,026	2,026	2,026				
単位あたりコスト		千円/人	115	73	129	135	135	135				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690402 奨学金支給事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和49年 から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
経済的理由により就学困難な学生及び生徒に対して、授業料の援助をし、高等学校や大学への進学による経済的負担を軽減する			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない		変化し 経済的に就学困難な世帯が増加する一方で、	
変化している		内容 授業料が高くなっている。	

3 評価(SEE)	目的 妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
					この事務を行う根拠又は理由	みよし市奨学金支給に関する条例
						経済的理由で就学困難な学生・生徒に、学業に必要な資金を支給し、教育の機会均等・有用な人材育成に寄与することを目的とする
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
				拡大		
			縮小			
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容		
		できない	→			
			追加			
			拡充			
			絞込み			
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由 又は 内容	経済的に困難な学生や生徒は、さらに就学が困難になるため廃止できない	
		多少影響がある	→			
		影響はない	→			
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由 又は 内容	現在の支給要件の見直しを図り、経済的に困難な学生や生徒に就学の機会を広げることができる	
		できない	→			
効率性	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	愛知県私学助成事業、民間の奨学金 等	
		ない	→			
			庁内事業	→	類似事業との再編の可能性	ある →
			庁外事業	→		
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
		ない	→			
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
		ない	→			
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
		ない	→			
			現状で適正			
			検討が必要	→		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	平成22年度から主に経済的な理由により奨学金を申請する保護者が急増している。奨学生の認定については、支給要件を満たしていても予算の範囲とする。					